

# しずく 議会だより

No.86

2013.7

議会広報編集特別委員会

●今号の主な内容

住民懇談会報告…2～3

6月定例会のあらまし…4～6

町の考えをただす

**一般質問** 6議員が登壇…7～12

先進地に学ぶ…13～15

町友会参加報告…16

クローズアップ…17

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り(52) …18～19

○今号の表紙／まちの笑顔シリーズ  
〔御明神小学校放課後児童クラブ〕

ご参加  
ありがとうございます  
ございました

栗石町議会では、住民の皆様へ町政に関する情報提供と、皆様のご意見、ご要望を広くお聴きするため、昨年に引き続き今年も5月7日、8日、9日の3日間、6会場で「住民と議会との懇談会」を開催しました。

延べ51人の方々に参加していただき、活発な意見が交わされたほか、質問や要望等も数多く出されました。その主なものをお知らせします。

# 住民と議会との懇談会

～延べ86件の意見・質疑応答～

開催日／時間／開催場所／参加者数／意見等数

5月7日（火）	● 19：00～20：55 / (1) 栗石公民館 / 9名 / 13件
	● 19：00～21：00 / (2) 小松公民館 / 9名 / 19件
5月8日（水）	● 19：00～20：45 / (3) 東町公民館 / 14名 / 15件
	● 19：00～20：45 / (4) 橋場小学校 / 8名 / 15件
5月9日（木）	● 19：00～20：40 / (5) 高前田一公民館 / 4名 / 16件
	● 19：00～20：45 / (6) 南畑小学校 / 7名 / 8件
● 合計 51名 86件	



## (1) 雫石公民館

- ・議員定数の削減は、議員からの提案か。
- ・地熱の再開発は。
- ・生森山頂上からの展望を良くしてほしい。
- ・中央公民館にあった「野葡萄」の絵は現在どこにあるか。

## (2) 小松公民館

- ・町道堂山蒲谷地線は以前に請願が採択されているので、地域の活性化のため整備してほしい。
- ・下長山小学校で古い小屋を解体したが廃材を処分してほしい。
- ・西山診療所の将来的な見通しは。
- ・懇談会は1日3班で9会場で行っては。
- ・奥産道の議員連盟は、どのような方向に持っていきたいのか。

## (3) 東町公民館

- ・県の教員住宅のフェンスを直してほしい。
- ・雫石町は儲かる行政を考えるべき。大学のプロジェクトだけでなく、住民参加型で発展してほしい。

## (4) 橋場小学校

- ・昇瀬橋の整備計画は
- ・住民に説明がないまま学校統合が新聞記事になるのはいかなものか。
- ・橋場小学校が統合されれば、橋場保育所もなくなるのか。

## (5) 高前田一公民館

- ・町営住宅には人も住めないようなところもあるので、修繕するべき。
- ・原発問題の風評被害の被害額を把握しているか。
- ・東電の補償問題は、損害賠償請求の時効中断をしているか。

## (6) 南畑小学校

- ・小学校の統廃合は、地域への説明をしっかりとってほしい。また、統合後の空き校舎の有効活用を検討してほしい。
- ・日赤鶯鳴荘の建て替えの際は、入所者を増やすなど入居しやすい状況になるか。
- ・鶯宿の足湯に暴走族が来て、住民の安眠妨害になっている。対策等検討してほしい。



5月7日、雫石公民館で



5月8日、東町公民館で



5月9日、高前田一公民館で



5月9日、南畑小学校で

※各会場の会議録、懇談会で回答を保留していたものなど、詳細につきましては雫石町のHPに掲載してありますので、ご願います。  
アドレス <http://www.town.shizukuishi.iwate.jp>

# クロスカントリースキー場公認取得に向け コース改良設計予算 363万4千円可決



公認になればいろいろな大会が開催されるかも

平成25年度6月定例会は、6月7日から6月14日までの8日間の会期で行われました。

冒頭町長から「水と緑の水田が広がり、雄大な岩手山と相まって、当町の自然の誇らしい豊かさを感じます。観光PRや上水道通水50周年記念、安全、安心な水道水の普及のため、ナチュラルウォーター“雫の恵み”を6000本製造しました。町が主催、後援するイベント等で配布し、観光振興につなげていきます。」とのあいさつがありました。

本定例会では報告案件2件、専決処分に係る

承認案件が3件、条例に係る案件が2件、補正予算に係る案件が5件、契約に係る案件が2件、財産の取得に係る案件が1件、町道路線に係る案件が2件、人事案件に係る案件が1件、議員発議案件が2件あり、これらの計20件の案件は全て原案通り可決しました。

そのほかに、請願2件は採択、陳情4件は採択2件と不採択2件となりました。

一般質問は、6名が登壇し、2日間にわたり町当局の考えをただしました。

## 一般会計補正予算(平成25年度主なもの)

### ○一般会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	計
81億7500万0千円	5614万5千円	82億3114万5千円

- ▶個別予防接種費(風疹) 300万0千円
- ▶雫石診療所特別会計繰出金(増) 1710万1千円
- ▶林道志戸前川線改良設計業務委託料 1308万3千円
- ▶クロスカントリースキー場公認取得設計他 363万4千円

## 主な質疑

**問** クロスカントリースキー場の公認取得に係る工事概要と概算費用は。

**答** 現在予定しているのが延長5kmコース中20カ所程度の改良工事で、概算1200万円程度と見込んでいるが、今回の設計で詳細を検討していく。

### ○一般会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	計
82億3114万5千円	56万3千円	82億3170万8千円

- ▶森林病害虫駆除処理業務委託料他(松くい虫対策) 56万3千円

## 特別会計補正予算(主なもの)

### ○雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	計
3億3462万6千円	1710万1千円	3億5172万7千円

- ▶医師1名増による給料他増 1710万1千円

**問** 7月1日から診療所の医師が2名になるが在宅支援にどう向き合っていくとしているのか。

**答** 昨年度から在宅医療にシフトするということである。いろいろ取り組んできた。常勤医師2名体制で進み、十分に在宅医療に手が回るような形で進めるため、7月5日にも経営者会議を開くことにしている。

## 人事

### ○雫石町監査委員の選任に関し同意を求めることについて

氏名 びわ さとし  
枇杷 恵氏  
(66歳、上町一・二行政区)



## ごなりました 請願・陳情 皆さんからの

○請願第2号 義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2014年度政府予算に係る意見書採択についての請願(採択)

提出者=岩手県教職員組合岩手支部

支部長 栗田 裕年

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であり、子どもや若者の学びを支援し、雇用・就業の拡大へとつなげる必要があるということで、採択とした。

○請願第3号 少人数学級の推進などの定数改善をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択についての請願(採択)

提出者=岩手県教職員組合岩手支部

支部長 栗田 裕年

社会状況等の変化により、学校の一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が求められ、また多様化する問題を解決するためには、計画的な定数改善が必要であるということから、採択とした。

○陳情第1号 下戸沢地内 生活道路の舗装に関する陳情書(不採択)

提出者=天戸行政区長 畑山 眞 他7名

継続調査となっていた本陳情は、工事の必要性や用地提供など、住民や地権者から理解を得られていない現状では工事に入ることは困難であるということで、不採択とした。



陳情箇所を調査する産業建設常任委員

○陳情第2号 旭台内 洪水対策に関する陳情書(採択)

提出者＝片子沢行政区長 高橋 浩二 他7名  
過去においても大雨の際に排水が追いつかず、床下浸水などの被害が発生しており、住民生活に支障を来していることから、必要性が認められるということで、採択とした。

○陳情第3号 旭台内 生活道路の舗装に関する陳情書(不採択)

提出者＝片子沢行政区長 高橋 浩二 他5名  
生活道路としての形跡が見受けられず、今後も活用の見込みがないと思われるということで、不採択とした。

○陳情第4号 八卦地内 町道の雨水排水対策に関する陳情書(採択)

提出者＝上町一・二行政区長 中村 守 他5名  
当該箇所には排水路がなく、雨水などが宅地へ流れ、浸水するなど住民生活に支障を来していることから、必要性が認められるということで、採択とした。



現地を調査する産業建設常任委員

平成25年 第3回雫石町議会6月定例会 議決結果等一覧

会期：6月7日(金)～6月14日(金)

議案番号	議案名	議員名																	採決結果		
		田屋館愛子	幅秀哉	岩持清美	山崎留美子	加藤真純	杉澤敏明	川口一男	前田隆雄	西田征洋	谷地善和	村田厚生	田中栄一	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	坊屋鋪俊一	平子忠雄		煙山惣右衛門	石亀貢
承認第1号	雫石町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
承認第2号	平成24年度雫石町一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
承認第3号	平成24年度雫石町下水道事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
議案第1号	雫石町分担金等の督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第2号	雫石町国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第3号	平成25年度雫石町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第4号	平成25年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第5号	平成25年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第6号	平成25年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第7号	雫石町公共下水道丸谷地幹線その8工事・雫石町公共下水道丸谷地枝線その11工事の請負契約の締結に関し議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第8号	雫石町公共下水道丸谷地支線7号工事・雫石町公共下水道丸谷地枝線その12工事の請負契約の締結に関し議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第9号	財産の取得に関し議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第10号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第11号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第12号	平成25年度雫石町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
同意第1号	監査委員の選任に関し同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	同意
発議第1号	義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
発議第2号	少人数学級の推進などの定数改善をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※猿子議長は採決には加わりません。

廃屋は、どんどん増える。  
景観上の対策を含め、  
堺石ならではの条例制定を  
スピード感を持って！

**チヨット**  
ひとりごと



質問者  
岩持清美  
議員

# 廃屋等の対策条例の制定は

## 町長／危険度などの調査を実施

### 歴史と文化の学習拠点整備は

**問** 町内には、確認されただけでも 210 カ所もの遺跡があり、特に桜沼遺跡より出土した遮光器土偶は大変貴重なものと聞いている。また、町内には有形無形の文化財や民族芸能などが自然風土、社会生活を反映しながら伝承されているが、町の「歴史と文化の学習拠点整備基本構想」はどのようなになっているか。

**教育委員長** 基本構想は、平成 22 年度に策定したものであるが、財政的課題から整備を速やかに実施することは困難である。資料の恒久的な保管場所については、現施設の改修、増築、他の施設の借用などから、速やかに検討する。

**問** 先般の住民と議会との懇談で、「板橋地区内にモーター跡があるが、景観も損ねているし、何者かが裏地に入り、いたずらをして問題になったこともあった。何とかしてほしい」と要望が出された。また、町内にはすでに朽ちかけて非常に危険な建築物も散見される。倒壊、火災の危険、犯罪の誘発、景観など多くの問題が内在していることから、空き家・廃屋対策条例制定の考えはないか。

**町長** 他の自治体の取り組み事例の情報収集を行うとともに、各行政区長にご協力をいただきながら、リストアップや危険度などの調査を実施したい。空き家や廃屋の管理は、基本的にその所有者の責任において行われるべきであり、どのような対策が有効なのか十分な検討を行う。



廃屋となったホテル



桜沼遺跡から出土した遮光器土偶



質問者／  
すぎさわとしあき  
**杉澤敏明 議員**

地熱開発は我が町の  
明るい未来を期待させる。  
町民に元気を与えてくれる  
ものだ。

**チヨット**  
ひとりごと

## 地熱開発の取り組みを

### 町長／民間と共同調査を検討中

**問** 国は、地熱エネルギーが天候に左右されず、年間を通じて安定的に確保できることから、さらなる普及拡大に向けて地熱資源開発調査事業費助成金交付事業を予算化している。

雫石・八幡平地域の国立公園周辺で導入の可能性が高いと言われていることから、当町においても地熱開発に取り組むべきではないか。

**町長** 民間事業者から雫石町地熱開発プランの提案がされている。当町所有の網張温泉元湯を中心とした地区で共同実施しようとするもので、補助金を活用して、民間事業者が資金を負担して進めるプランである。

当町のメリットとしては、地熱発電事業による固定資産税などの税収、雇用効果、廃熱利用による産業振興、観光資源としての利用などが見込まれる。町にとって有望なプランであることから、実施体制などについて関係者との協議を始めたところであり、実現に向けて積極的に支援していきたい。

**問** 支援していきたいとはどういうことか。

**環境対策課長** 補助金申請する際には、共同で申請することになるが、費用の負担は民間事業者が行い、補助金をもらって実施することになる。町が所有する源泉地区の開発調査を予定しており、地域の活性化につながるような二次利用計画も推進するので、町と企業が共同で調査をしていくことになる。

#### まちおこしセンター前の土地取得を

**問** 雫石町まちおこしセンターとよしゃれ通りの間に空き家があり、イベント広場や駐車場スペースなどとしての機能が十分に発揮できない状態になっている。

町は、この空き家と土地を取得し、さらに多くの町民に使っていただける施設、活気のある施設に変貌させるようにするべきではないか。

**町長** 今後、指定管理者である雫石商工会と各種事業へもたらす効果について協議を進めるが、あくまでも施設整備を優先することではなく、にぎわう商店街の核となるような事業の充実を最優先し、駐車場の拡張については今後の情勢判断としたい。



湯煙が立ち上る網張温泉元湯

■他にこんな質問もしました  
・線越明許費の進捗状況について



質疑がかみ合わず、  
聞いていることに答えていない。

チョット  
ひとりごと



質問者／  
おおむらしょうとう  
大村昭東 議員

## 日赤鶯鳴荘園長と東北大学教授への対応の違いは

### 町長／対応に違いはない

**問** 日赤鶯鳴荘の移転新築用地に鶯宿地内の町有地を無償貸与するという決定と、東北大学の教授が二度来庁し、「重粒子線がん治療装置を町有地の借用または買い取って施設整備したい」という町長との面談申し出をそのまま放置していた対応の違いは何か。

**町長** そのような対応はしていない。重粒子線がん治療装置についても、それをやりたいという要請はされていない。教授自身も、その方からお誘いを受けてきたということだった。情報自体は有意義なものであったが、その結論や答えを欲しいというものではなかった。

#### TPP 参加への備えは

**問** 当町が農業を基盤産業とする町として生き残るためには、TPPに参加した場合の最悪の事態を想定し、農家の生産技術、経営技術を磨き体質強化に努め、どのような事態にもスピーディーに対応できる体制を整えておく必要がある。そのためには、まず、町長のマニフェストに掲げている農林業分野の諸施策を農林業行動計画に具体的に反映させて、行動、実現することが必要だが、TPP参加への備えについてどのような行動を起こしているか。

**町長** 雫石町の農産物が市場や消費者から常に強い引き合いがあることを目標に、国内市場においては私自身が町内主要農産物である米、野菜、牛肉などのトップセールスを機会あるごとに行い、市場の拡大に向けて取り組んでおり、継続していく。

また、TPPにより農産物や農産加工

品などの輸出拡大も期待されるので、当町が加入している、いわて牛普及推進協議会事業による香港や台湾など海外市場への売り込み行動のほか、平成24年度にいわて農林水産物輸出促進協議会へ加入し、町内産農産物の販売戦略を検討する上での情報収集に努めている。

#### 温泉等を活用した町勢拡大策は

**問** 温泉や町内各地の桜園地を活用した町勢の拡大策をどのように考えているか。

**町長** 当町は、多様な自然資源に恵まれ、四季を通して訪れる方々に楽しんでいただいているが、今後は雫石町観光・交流活性化行動計画に基づき、しずくいし観光協会を中心に自然資源とイベントや歴史文化等の資源、各種施設等が連携する基盤を強化し、観光振興による町勢拡大に取り組んでいく。

#### コンプライアンスへの取り組みは

**問** 5月下旬町営住宅遺体発見事件があり、その前には固定資産税誤徴収、年金の事務処理ミス、交付金事業と制度資金事業の返還金問題などが発覚している。早急にコンプライアンスマニュアルを定めるべきではないか。

**町長** 平成25年度から平成27年度までの第3次行政改革実施計画において、組織機構と組織風土改革の実現のための取り組みの一つとしてコンプライアンス体制の強化に取り組んでいく。職員倫理規程等マニュアルの制定についても検討を進めていく。

気づいたら8回目の質問だわ、  
光陰矢の如し？  
ちょっと古い言葉か。

**チヨット**  
ひとりごと



質問者  
やまざきるみこ  
山崎留美子  
議員

## まちおこしセンターの運営を今後どう考える

### 町長／介護予防事業への活用を前向きに検討

**問** オープンして3年経過したが、商品開発などが生かされるレストラン部門は24年度446万円から253万円で前年対比44%減、物産販売は173万円から153万円で12%下がっているが、運営等の改善手法や今後の考えは。

**町長** 来館者数は年々減少傾向にあり、中心市街地の活性化を目的とする施設としては、これまで以上に工夫を凝らした事業展開により、利用者増を図る必要がある。

食の匠による料理講習会は、平成24年度は9回開催し、延べ149人の参加があり毎回好評を得ている事業の一つだ。観光、歴史、文化、郷土芸能、伝統工芸の普及宣伝に向けた事業は、これまで以上に住民参加型の意識を強め、企画、運営していく。

**問** 企画イベント収入が85万6,920円だが、開発事業費が約38万円と経費の45%もかかっている。収支の内訳から指定管理者に対し、助言や改善など対応しているか。

**町長** 指定管理者の自主事業という認識をしている。パーセンテージやその他、ウ

ェートは変わっていくものだと思いますのでそこまでは関与していない。

**問** 人件費が100万円アップしており職員の配置が4名から5名になっているのはなぜか。

**観光商工課課長** 23年度まで勤めた企画マネージャーが24年度退職した。その仕事をサポートするために2人を採用した。事業展開を進める上では、2人の充当が必要で増員になったと聞いている。

#### 介護予防事業への活用を

**問** 中心市街地の立地を活用し「地域に根ざした包括的介護予防サービス」拠点として、高齢者やひとり暮らしの団らんの場として一部利用を検討する考えは。

**町長** 介護予防事業は現在健康センターを中心に町内全域で展開している。

まちおこしセンターで行うことは、中心市街地に居住されている事業対象者の皆さんの利便性向上という面において、前向きに検討すべき事項だと考えている。



軽トラ市の際に賑わいをみせるまちおこしセンター

#### ■他にこんな質問もしました

・町表彰条例に「町民からの推薦枠」を加えることについて



質問者／  
にしだまさひろ  
**西田征洋 議員**

## 除雪事業の委託料の使い方の報告は

### 地域整備課長／委託先のNPOからは詳細な報告はない

**問** 町道の除雪に関して町民の評判は必ずしも良いとはいえない。特に除雪の委託料に不満が強いが。

**町長** 年々 NPO に委託する除雪の範囲と規模が大きくなったことや、その年ごとの気象により委託料が多くなっているものだ。

**問** NPO が委託料をどの様な配分をし、運転手等にどのくらい支払っているか町に報告をしているか。

**地域整備課長** 詳細な報告は受けていないが、これからは事業の透明性を高めるため事業の収支報告などを求めて行きたい。

**問** 実際に運転している人にいくらお金が渡っているかを知らないようでは発注者である町の責任が問われる。制度を含めて考え直すべきでは。



増加する除雪費の精査を

■他にこんな質問もしました  
・町誘致企業の木材工場について

**町長** 実際にはきちんとした仕事をしており、この年月をかけての除雪の体制ができており、今のやり方で良いと思うが委託料の精査は必要と思っている。

#### 町営住宅のミイラ化遺体事件、再発防止策を

**問** 町民は町営住宅の事件に衝撃を受けている。

**町長** 亡くなった方の身元、死因、死亡推定時期は現時点では特定されていない。当住宅には 60 歳代の方が入居していたが、平成 17 年 12 月までの面会記録が最後で所在確認ができなくなっていたもの。住宅の内部まで立ち入ることをしなかったのがミイラ化するまで発見が遅れたことの要因の一つと考えている。事実を重く受けとめ、各機関とも一層連携を強めて再発防止に努めるつもりだ。

**問** この問題の本質は、福祉の問題だ。当該住宅では住んでいる人たちがお互いに連絡し合って動けないで見つけない人を見つけて、病院にまで連れて行って一命を取り止めたという貴重な事例がある。餓死者が出た可能性があったのを寸前で住民の連携プレーで救った。こういう行動を行政が全くつかんでいないことが問題だ。再発防止を言うならもっと福祉の心で対応するなど、その立場に立ってこそいろんな方法が見いだせるはずだ。

# 先進地に学ぶ

## ～行政視察レポート～

### 総務常任委員会

7月2日から4日まで、次のとおり所管に関わる調査を行いました。（参加者：谷地委員長、村田委員、西田委員、杉澤委員、岩持委員、猿子議長、会計管理者、企画財政課長）

- (1) ひろしましごと館（広島県広島市）
- (2) 定住促進と雇用対策（広島県<sup>みよし</sup>三次市）
- (3) 空き家バンク制度  
コンビニ誘置について（広島県<sup>じんせきこうげん</sup>神石高原町）

#### 【広島市】就職サポート

ひろしましごと館は、就職の相談に訪れる所です。また、三次市でも指定管理で同じようなジョブカフェを運営しています。

求職者の職業適性診断を行い、どんな職業が適しているか相談にのったり、ハローワークに戻すもの、研修の斡旋職業訓練の紹介などを行うとともに、セミナーなども開催しています。次にハローワークでは、パソコン検索による求人情報の実態などを調査しました。



求人情報の実態を伺う

#### 【三次市】定住促進に空き家バンク

空き家バンク制度があり、要望が150件ほどあるが成約は30件とのことでした。空き家購入サポート事業、空き家体験セミナー、空地購入奨励金などの事業を行っており、廃屋対策条例も制定しています。

また、併せて視察した道の駅「ゆめランド布野」は、

バイキング形式のレストランなど客が多く活気のある施設でした。栗石の道の駅にも参考となるような取り組みを行っていました。



バイキング形式の昼食で活気のある道の駅

#### 【神石高原町】1番住みやすいまちを目指すまちづくり

農地付き住宅などの定住促進事業と定住団地の販売を行っており、空き家バンク事業は契約27件、バンク以外でも8軒が定住しています。農地ごと購入し就農する人もいますが多くは家庭菜園であり、1アールからでも農地購入が可能で、改修助成制度など多くの援助がありました。

定住団地は100万円台より販売しており、新築に対し100万円、固定資産税5年間50%助成など多くの特典があり好評とのことでした。

また、この町にはコンビニが無かったため、第三セクターである道の駅が大手コンビニを誘致し、買い物弱者のために移動販売も行っていました。また、農産物販売所は非常に品数が多く全国的に報道されたこともあり、町民も役場職員も活気とやる気のある町だと感じました。



道の駅に誘致したコンビニの前で

## 教育民生常任委員会

7月8日から10日まで、次のとおり所管に関わる調査を行いました。(参加者：加藤委員長、山崎委員、平子委員、坂下委員、上野委員、幅委員、石亀副議長、町民課長)

- (1) 訪問診療について(北海道夕張市)
- (2) コミュニティバス事業について(石狩郡当別町)
- (3) 高齢者見守り・生活支援システムについて(白老郡白老町)

### 【夕張市】夕張医療センター訪問診療、看護に同行！

指定管理者の医療法人財団「夕張医療希望の杜」が運営している医療センターは、入院病床が栗石町立診療所と同じ19床。併設で介護老人保健施設も運営しています。特徴的な取り組みとして、

- 医師や看護師、薬剤師や理学療法士、ケアマネや介護士も交えた「在宅看護\*カンファレンス」を行い、垣根を超えた情報交換や共有を図っている。
- 24時間往診や訪問看護と、在宅療養患者の緊急入院を受ける体制を確保している。
- 市民フォーラムの開催や診療所ニュースの発行を行い、市民との親睦や医療情報の周知も図っている。

委員は4班に分かれ、在宅で診療や看護を受けている方を同行訪問、聞き取り調査をした後、医師等からこれまでの経緯や課題等を伺いました。



実際に訪問診療に同行して調査しました

### 【当別町】コミュニティバス「ふれあいバス」の概要を聞く

当別町は人口17,835人、平成17年当時7台あったバスを1台に統合し、大学や企業、町と官民共同の運行です。利用者は年間約13万人(平成24年度)

※カンファレンス：会議

- 運行表のダイヤ作りは、職員が研修を受け自ら作成し、コストカットを図った。
- 地元の整備工場の応援もあり、中古バスをノンステップバスに改修しBDF使用で取り組んだ。
- 企業と近隣大学の定額負担金もあり、当別町は1200万円の負担で済んでいる。
- バスの運営自体は「地域公共交通活性化協議会」で町が事務局を担っている。

廃食用油回収への取り組みや燃料使用量の推移に関し、バス事業所と整備工場が一体化のメリットや、バス利用促進事業の実施等行われています。運行には、全国2番目の取り組みだったことや、国の補助対策事業対象として国土交通省の直接的協力があつたこと等を伺いました。

### 【白老町】高齢者見守りや生活支援システム事業

人口19,771人(22年7月)の白老町は高齢化率36%。独り暮らしの方は2,116人。平成22年度に国のモデル事業として、携帯電話「らくらくホン」の貸し出しによる生活支援のシステムをスタートしました。生活の困りごとや各種予約などの対応をしています。現在120台の貸し出しがありますが「待機者」も出ています。

- 導入時の経費は6千950万円だが、地域IC利活用推進交付金ですべて対応。
- ランニングコストとして、通信費や保守点検など、人権費以外に86万円かかる。
- 普通の携帯としても使用できるが、利用者の自己負担金が月1,600円かかる。
- 携帯電話に装着された歩数計データを生活支援員が毎朝チェックし、歩数カウントがゼロの方に安否確認の電話を入れる。

装着しないケースもありますが、いずれの場合も電話確認でコミュニケーションが取れる、ということでした。



総合保健福祉センターにて研修

## 産業建設常任委員会

7月10日から12日まで、次のとおり所管に関わる調査を行いました。(参加者：川口委員長、坊屋鋪委員、大村委員、田中委員、前田委員、田屋館委員、農林課長、観光商工課長)

- (1) グリーンツーリズムの取り組みについて（鹿児島県鹿児島市）
- (2) 鹿児島市観光農業公園について（鹿児島県鹿児島市）
- (3) 観光振興と温泉振興の取り組みについて（鹿児島県指宿市）

産業建設常任委員会では「産業の振興策について」を最重要課題と位置付けて調査、研究をしていますが、今回の研修は「農業振興策としてのグリーン・ツーリズムへの取り組み」「温泉振興に対する取り組み」の二つのテーマで、情報の共有化、今後のまちづくりに生かしていくため、町担当課職員を帯同し実施しました。

### 【鹿児島市】農業振興策としてのグリーン・ツーリズム

鹿児島市では、グリーン・ツーリズム推進計画を策定し「多彩な体験、温かい交流による心身のリフレッシュと農村地域の活性化」を基本目標に積極的に取り組んでいます。

23年3月、九州新幹線の全線開業により、グリーン・ツーリズムへの参加者数は22年度「365人回」から23年度「1,621人回」24年度「1,583人回」と飛躍的に伸びています。エリアが近隣市町村から、関西エリアまで広がったという環境もありますが、綿密な推進計画、メディア・旅行代理店に対する、徹底的な営業の強化が成果を上げてくれた、とのことでした。



鹿児島市役所内での調査

### 【鹿児島市】鹿児島市観光農業公園(グリーンファーム)

総面積41ha、総事業費36億円をかけて整備されたグリーンファームは、農作業体験ができる「体験学習ゾーン」調理・工芸体験、滞在型市民農園を整備した「地域交流ゾーン」民間事業者が循環型農業の技術を活用して安全・安心な農産物を生産する「民間参画ゾーン」の3つのゾーンで構成されています。特に、農地と宿泊施設がセットになった20区画の滞在型市民農園と、800区画の体験農園のすべてが申込終了となっていることに驚きました。



東京ドーム約9個分の敷地面積を持つ農業公園

### 【指宿市】観光振興と温泉振興

指宿という知名度から何とか観光客の入り込みは横ばいで推移しているが、23、24年では3万4千人、4.2%の減となっています。「うらしま太郎」伝説の地ということで、九州新幹線全線開業と同時にJRにお願いし、観光特急「指宿のたまて箱」を運行しました。

その他「のったりおりたりマイプラン」乗車券1枚で市内に点在する観光スポットを回れる路線バスを、JR指宿駅から45分間隔で運行しています、また「いぶりん」という電動アシスト付き自転車をレンタサイクルとして貸し出しているとのことでありました。

この3つの研修から、なんとか本町でも取り組みのないものだろうかと感じました。



アロハシャツが制服となっている指宿市役所

## 第35回 在京雫石町友会



6月22日、第35回在京雫石町友会の総会と交流会が東日暮里のホテルラングウッドにて開催されました。

町当局と県議、町議、郷土芸能関係者の総勢15名の一行は町友会交流会に参加するため雫石駅8時24分発の新幹線で上京しました。6月の東京にしては蒸し暑くもなく過ごしやすいつと感じながら日暮里駅から徒歩で会場に向かいました。

午前中の総会では新里孝二新会長が選出され、坂本巳由前会長は顧問に就任されたとのことであります。また、雫石史談会の上野ヒデ子さんが昔語りを披露した模様です。

在京雫石町友会は関東一円に500名を超す会員がおられると伺いましたが、当日の参加者は56名で内5名が初参加とのことであります。

正午からの交流会は階衆議院議員、土橋商工会長、松田しずくいし物産振興会長も加わり、物故者への黙とうから始まり、新会長あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、新役員紹介、乾杯、懇談と続きました。

何十年ぶりかで同級生やご近所だった懐かしい人たちにお会いできるのも町友会ならで



議長あいさつ

はと思います。

北條真由美さんと三上紀子さんによる郷土芸能が披露されている最中に、気が付けばいつの間にか福田こうへいさんがステージに立っていて大変驚きました。どうやら金沢に向かう途中、時間を割いて町友会に駆け付けてくれたようです。

交流会終了後は、銀座の「いわて銀河プラザ」に移動して雫石の物産と観光展を視察し帰町しました。



# クローズアップ クローズアップ クローズアップ

改選後の新議員をシリーズで紹介します。議席番号7、8、13、14番の4名が議員としての抱負などを語ります。



## 「町民のために未来を築く政策提言」

川口 一男 議員(70歳 安庭行政区)

末席をいただき、6年経過しました。町民の声を議会に、そして町民のために未来を築く政策提言をモットーとして、議論をと思う心が燃えているこの頃であります。



## 56歳で初孫

前田 隆雄 議員(57歳 篠崎行政区)

56歳で初孫を持ちました。小中学校の入卒業式に出る度、その数が減っていくことに、我が町としての危機感を感じています。若者たちよ、嫁探しに、婿探しに力を注いでくれ!! お願いします。



## 「町民の納得感、満足感、信頼感を得る議員活動を」

大村 昭東 議員(71歳 下町四行政区)

今、町政の緊急重要課題は人口激減対策です。その人口は、本年4月1日現在17,496人、約10年後は15,263人となり、約20年後は13,091人、約40年後は8,746人となる推計があります。

このことがどういう問題を引き起こすのか、このまま何もしなければ盛岡市か滝沢市に吸収合併される時がきます。のんびりしておられません。

町の産業振興、教育の充実、福祉の向上、環境保全に一心不乱に取り組みます。

◎心訓：心田を耕す ◎人生訓：是人生努力

◎生活信条：こころこそ 心まよわす 心なれ  
心に心 こころゆるすな



## 「一意専心」

上野 三四二 議員(74歳 榊沢行政区)

「<sup>おご</sup>焦らず、奢らず」とにかく一生懸命やることですね。二元代表の議員に恥じないように、大所高所は当然のことながら、毎日毎日、町民の声を大切に町政に反映させることだと思っています。

何ごとも変に難しいものではなく、コツコツ誠意をもってことに当たれば議員の使命を果たすことができると思っています。

生活面では、パソコン、読書や情報収集。何と言っても健康が第一、スキー、陸上、絵画など限りなく現職を続けたいですね。



# 議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



た やだて いくこ  
田屋館 郁子さん  
(41歳・町場地区)

## 恵まれた町 雫石町に住んで

わが家には、高二の長男、中三の長女、小六の次男、三人の子どもたちがいます。

長男は野球部、長女は水泳部、次男は学童相撲と何かと忙しいです。

大変な日々ではありますが、この子どもたちのお陰で私自身の世界も大きく広がったのも事実です。

そんな中、町内のスポーツ施設が、とても充実していることに気が付きました。雫石の子どもたちは、ほぼ毎日、本格的な施設を利用して部活動に励むことができます。町民の私たちが格安で利用でき、豊かな自然に囲まれ、伸び伸びと体を動かすことができます。

近隣に出掛けるのも良いでしょうが、町内にある施設をどんどん利用して、雫石町の良さや、子育てするには意外と恵まれた環境にあることを、たくさんの人に知ってほしいと思いました。



にいさと ひろし  
新里 博司さん  
(40歳・安栖行政区)

## 適正配置へ望むこと

私は、小学2年、1年、保育園年長、三人の父親です。

町内小学校適正配置の提言書が出され、橋場小学校が御明神小学校に統合されるとのことで不安がありましたので、町民と議会との懇談会に参加しました。

まずは、7才、8才の子どもたちが多くの仲間とうまく交わることができるか心配です。中学校からではある程度大きくなっていますし、分別もついています。同じ小学校出身者は先輩もいて顔なじみもいます。小学校からでは保育園だけの顔なじみしかいませんので孤立することがないか心配です。

通学についても、遠くなりますのでスクールバス等の配置や、時間についても十分な検討を願いたいものですし、バスに乗り遅れた時の問題もあります。近くの学校では歩いても行けますし、じいちゃん、ばあちゃんに頼むこともできますが、遠くなるとできません。

今、橋場小学校の子どもたちは「こまくささんさ」をやっていますが、この伝統文化をどのように残していけるかも課題と思いますし、橋場保育園は必ず残してもらいたい。また地域住民の結びつきを保つためにも跡地は残してもらい、公民館のような使い方にできないでしょうか。

統合は、児童にとってより良い教育環境のためといわれていますが、少人数学校にも良い面がたくさんあります。本当に統合がベストのことなのか疑問もありますので、少人数学校の良い面の検証もお願いしたい。



さくらこうじ としお  
櫻 糺 敏夫さん  
(56歳・野中行政区)

## 将来を見据えた 活発な議論を

雫石町で生まれ育ち、仕事の関係で30年近く離れましたが、ようやく帰郷に至り5年目を迎えています。地域の皆さんに大変世話になりながら生活出来ることに雫石町の良さ、雫石町の地域性を感じているところです。

「議会だより」は、議会を傍聴する機会をなかなか作り出せない小生にとって唯一、雫石町及び議員の考え方、頑張りについて情報提供してくれていると感じています。

しかしながら、「雫石町としての中長期的な真の課題は何なのか」、「どう変革して行くべきか」など明確化した上での議論を更に期待したい。

近い将来必ず到来する超高齢化、限界集落、TPPへの対応など、避けられない難しい課題が山積していると感じています。

町民の一人として、町の決定した取り組みについては、汗を流し苦しくとも協力を惜しむものではありません。

雫石町の将来の展望を見据えた舵取りを、真剣に町民と一体となってやり遂げることを期待します。



たかはた おさむ  
在京雫石町友会 会員 **高畑 治さん**

## 故郷を離れ故郷に感謝!

私は、西山地区八区行政区に昭和29年4人兄弟(兄、姉、姉)の末っ子として生まれ、雄大な岩手山の麓で育ちました(実家の屋号は三蔵)。小学生のころは、ただひたすら野山を駆け回るわんぱく坊主で、毎日両親や先生にご指導をいただく日々でした。その後も中学、高校と進みわんぱくさは無くなりませんでした。多くの先生方や友人に恵まれ、わがままを許していただきながら、導いていただいたことに感謝しています。

高校は、盛岡工業高校土木科に進学し、学校が都南村(現在は盛岡市)に移転したこともあり、下宿生活で親に相当な負担をかけながら無事に卒業しました。昭和48年に国鉄に入社しましたが、残念ながら勤務地は東京となりました。国鉄に入社後は、当時鉄道土木技術は土木工事の最先端でしたので、一生懸命に技術取得を行い、東北新幹線工事で盛岡に帰ることを夢見ていましたが、夢叶わず東京に居座り続けました。

昭和62年に国鉄が倒産し、その後JR東日本に移行後は、JRの設備投資計画を担当しました。その中でも盛岡以北の東北新幹線

の建設計画を当時の運輸省等関係機関との協議を行い、工事計画を取りまとめたことは、故郷の経済発展に陰ながら貢献できたのかなと思っています。

昭和59年に高校の同級生の紹介で結婚し、藤沢の辻堂海岸を皮切りに三軒茶屋(長女誕生)、大井町の社宅を転々として親子3人で東京で生活しました。平成6年に妻の実家がある茨城県東海村に移住し、JR東日本水戸支社で勤務を行い、現在は二人目の孫の誕生(7月誕生予定)を楽しみに、JRの子会社で不動産開発等の業務を行っています。

故郷雫石には、年に2~3回程度帰省していますが、実家に立ち寄るのみで、同級生とゆっくり会話を楽しむことができないことが残念です。でも、故郷はいつも変わらず迎えていただいていると感じています。宮沢賢治の「ふるさとの山に向ひていふことなし ふるさとの山は ありがたきかな」の心境がありますが、故郷のありがたさを忘れず頑張っ  
てまいります。最後に雫石町の益々の発展を祈念しております。



小学校入学式(前列左が筆者)



妻(文恵)と袋田の滝で



ひたち海浜公園で孫と

高畑 治さんプロフィール

昭和29年生れ。

下長山小学校—西山中学校—盛岡工業高校

国鉄第二工事局—JR東日本(本社)—JR東日本水戸支社—JR東日本都市開発(取締役水戸支店長)、

家族 妻と義母の3人暮らし。

# 雫石町へようこそ



お嫁さん

お婿さん



ご縁があり、町外から迎えられた  
「お婿さん」



妻の睦さんと自宅前で

ほそかわ よしのり  
**細川 義経さん**（41歳 岩手郡滝沢村出身）  
（旧姓：内記、東町行政区在住）

**Q-雫石に来たきっかけは？**

- 妻の実家で、花とお米を作っており、妻と一緒に花とお米を作りたいと思ったからです。

**Q-雫石町で暮らしてみているいかがですか？**

- 自然が豊富で、癒されます。特に温泉が近い！というのがうれしいです。

**Q-町に望むことは？**

- 若者が集まってくるような雇用場所が増えてほしいと思います。また、今のまま自然が豊富で農業が発展している町を望みます。

## 議会の主な動き 5～7月

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>5月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 雫石町早起き野球大会開会式</li> <li>7 雫石町教育研究会<br/>住民と議会との懇談会</li> <li>8 住民と議会との懇談会</li> <li>9 住民と議会との懇談会</li> <li>10 地域コミュニティ組織連絡協議会平成25年度定期総会</li> <li>13 町防犯交通安全協会連合会</li> <li>15 政務調査会、議員全員協議会</li> <li>18 雫石中学校校体育祭</li> <li>19 岩手山ろくファミリーマラソン</li> <li>20 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会要望会</li> <li>21 町村議会議員研修会</li> <li>23 雫石商工会通常総会</li> <li>24 雫石町自衛隊協力会定期総会</li> <li>26 雫石町体育協会定期評議員会</li> </ul> | <p><b>6月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 駒ヶ岳山開き</li> <li>7～14 6月定例会</li> <li>8 町スポーツ少年団春季野球大会</li> <li>9 雫石町消防操法等協議会</li> <li>16 岩手駐屯地創立56周年記念行事</li> <li>21 政務調査会現地調査</li> <li>22 在京町友会</li> <li>26 八幡平市議会広報委員会視察来庁</li> <li>28 福島県川俣町議会広報視察来庁<br/>議会運営委員会</li> <li>30 消防演習</li> </ul> | <p><b>7月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 岩手山山開き</li> <li>2～4 総務常任委員会県外視察</li> <li>3 雫石町・滝沢村連合畜産共進会</li> <li>5 議会広報編集特別委員会</li> <li>8～10 教育民生常任委員会県外視察</li> <li>10～12 産業建設常任委員会県外視察</li> <li>10 岩手県町村議会議長会定例理事会</li> <li>12 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会総会</li> <li>16 政務調査会</li> <li>17 議会広報編集特別委員会</li> <li>22 第4回雫石町議会臨時会</li> <li>25 新潟県村上市議会広報委員視察来庁</li> <li>26 第60回岩手郡町村議会議員大会</li> <li>30 富士市・雫石町災害時相互応援協定締結式</li> </ul> |
|--|--|---|

## 情報公開

### ●議長交際費執行状況

#### 【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

#### 【議長交際費内訳（4月～6月）】

月	葬祭費	お祝い、会費
4	0件 ー円	4件 16,000円
5	0件 ー円	7件 30,000円
6	0件 ー円	4件 13,000円
小計	0件 ー円	15件 59,000円
総計 (1月～6月)	0件 ー円	28件 108,800円

### ■編集デスク

今年も夏夏が過ぎ、冬至にむかって針の穴ぐらい日一日と夏の日差しが短くなります。

私の任期も2年を迎え折り返し地点です。議会改革で議員定数の削減が決まり、「住民と議会との懇談会」を開催したり、議会の新しい歩みを感じています。

懇談会は、昨年より参加者が多く、住民の皆様の意見を聞くことができ、とてもよかったです。

もっと身近な議会になるように頑張りたいです。

（編集委員 田屋館 愛子）